

令和 6 年 8 月 2 8 日

令和 6 年度_第 1 回 柏市国民健康保険運営協議会【資料 2】

令和 5 年度 柏市国民健康保険事業特別会計決算 見込み 及び 令和 6 年度保険料の本算定の状況 等について

柏市健康医療部保険年金課

目次

■ 令和 5 年度 柏市国民健康保険事業特別会計決算見込について

- 1-1. 令和 5 年度決算見込【歳入】 p4
- 1-2. 令和 5 年度決算見込【歳出】 p5
- 1-3. 令和 5 年度決算見込【収支】 p6
- 1-4. 令和 5 年度決算見込【形式収支内訳】 p7
- 1-5. 国保会計収支の推移 p8
- 1-6. 国保財政調整基金の推移（取崩額・積立額・期末残高） p9

■ 令和 6 年度保険料の本算定の状況等について

- 2-1. 一人当たり医療費と被保険者数の推移 p10
- 2-2. 一人当たり所得の推移（本算定時） p11
- 2-3. 一人当たり保険料調定額の推移 p12
- 2-4. 現年分保険料収納率の推移 p13
- 2-5. 過年度分保険料収納額の推移 p14
- 2-6. 柏市保険料率の推移 p15
- 2-7. ～ 2-10. 【近隣比較】 令和 6 年度の年間保険料比較【参考】 p17～19

■ 粗い将来推計の更新について

- 3-1. 粗い将来推計の概要 p22
- 3-2. 粗い将来推計における被保険者数について p23
- 3-3. 粗い将来推計における納付金の推移 p24
- 3-4. 粗い将来推計に係る標準保険料について p25
- 3-5. 粗い将来推計に係る納付金の対前年比（伸び率） p26
- 3-6. 保険料を令和 7 年度以降据え置いた場合の粗い将来推計 p27
- 3-7. 保険料を毎年8,500円改定した場合の粗い将来推計 p28
- 3-8. 【参考】 保険料を毎年8,500円改定した場合の粗い将来推計(R5年度版) p29

■ 令和 6 年度の開催予定

令和 5 年度柏市国民健康保険事業特別会計 決算見込について

1. 令和 5 年度決算見込 【歳入】
2. 令和 5 年度決算見込 【歳出】
3. 令和 5 年度決算見込 【収支】
4. 令和 5 年度決算見込 【形式収支内訳】
5. 国保会計収支の推移
6. 国保財政調整基金の推移（取崩額・積立額・期末残高）

※各図表において表示単位未満の位で四捨五入しているため、計が一致しない場合がある。

1-1. 令和 5 年度決算見込【歳入】

[単位：百万円]

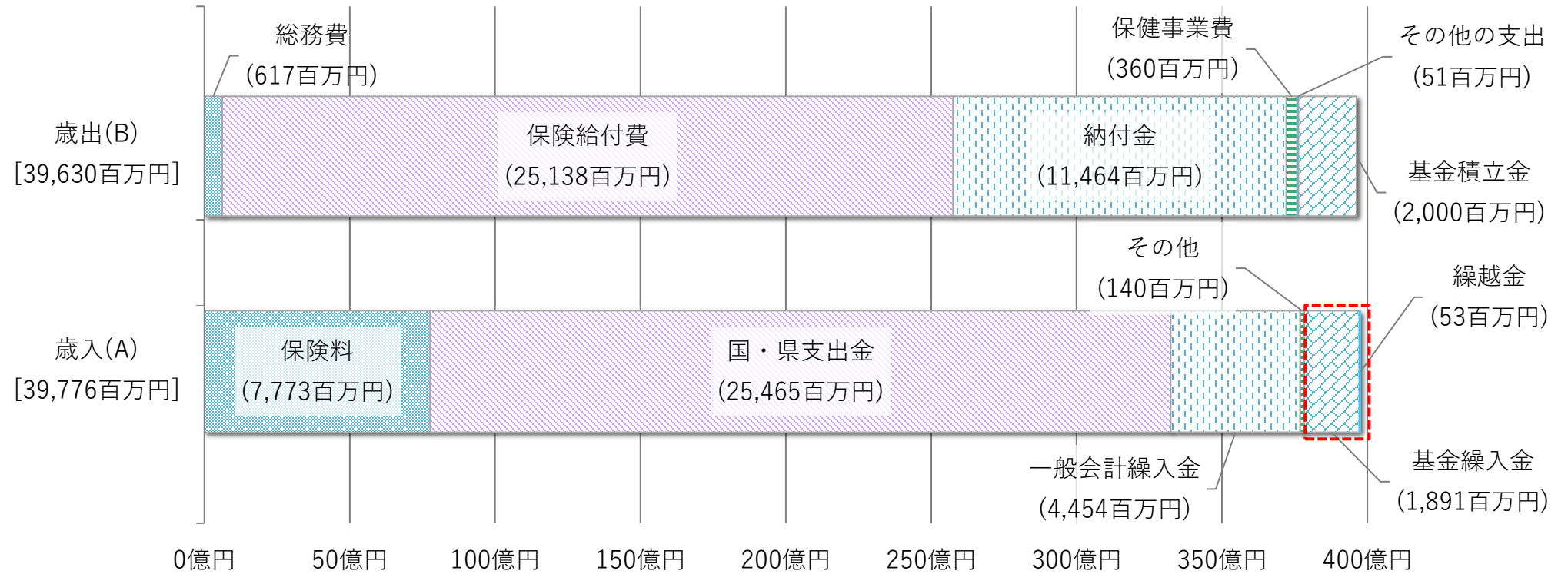
区分	当初予算 ①	補正 ②	現計予算 ③＝①＋②	決算見込 ④	差引額 ⑤＝④－③	執行率 ⑥＝④÷③
1.保険料	7,945	▲ 157	7,788	7,773	▲ 15	99.81%
2.国・県支出金	26,689	▲ 500	26,189	25,465	▲ 724	97.24%
3.繰入金	4,322	2,104	6,426	6,346	▲ 80	98.75%
【再掲】一般会計繰入金（法定内）	2,431	104	2,535	2,454	▲ 81	96.81%
【再掲】一般会計繰入金（その他）	0	2,000	2,000	2,000	0	100.00%
【再掲】基金繰入金	1,891	0	1,891	1,891	0	100.00%
4.繰越金	0	53	53	53	0	—
5.その他の収入	88	0	88	140	52	159.09%
歳入合計（A）	39,044	1,500	40,544	39,777	▲ 767	98.11%

1-2. 令和 5 年度決算見込 【歳出】

[単位：百万円]

区分	当初予算 ①	補正 ②	現計予算 ③ = ① + ②	決算見込 ④	差引額 ⑤ = ④ - ③	執行率 ⑥ = ④ ÷ ③
1.総務費	686	0	686	617	▲ 69	89.94%
2.保険給付費	26,253	▲ 500	25,753	25,138	▲ 615	97.61%
3.国民健康保険事業費納付金	11,461	0	11,461	11,464	3	100.03%
【再掲】医療分	7,568	0	7,568	7,570	2	100.03%
【再掲】後期高齢者支援金分	2,894	0	2,894	2,895	1	100.03%
【再掲】介護納付金分	999	0	999	999	0	100.00%
4.保健事業費	480	0	480	360	▲ 120	75.00%
5.その他の支出	164	2,000	2,164	2,051	▲ 113	94.78%
【再掲】基金積立金	0	2,000	2,000	2,000	0	100.00%
歳出合計 (B)	39,044	1,500	40,544	39,630	▲ 914	97.75%

1-3. 令和 5 年度決算見込 【収支】

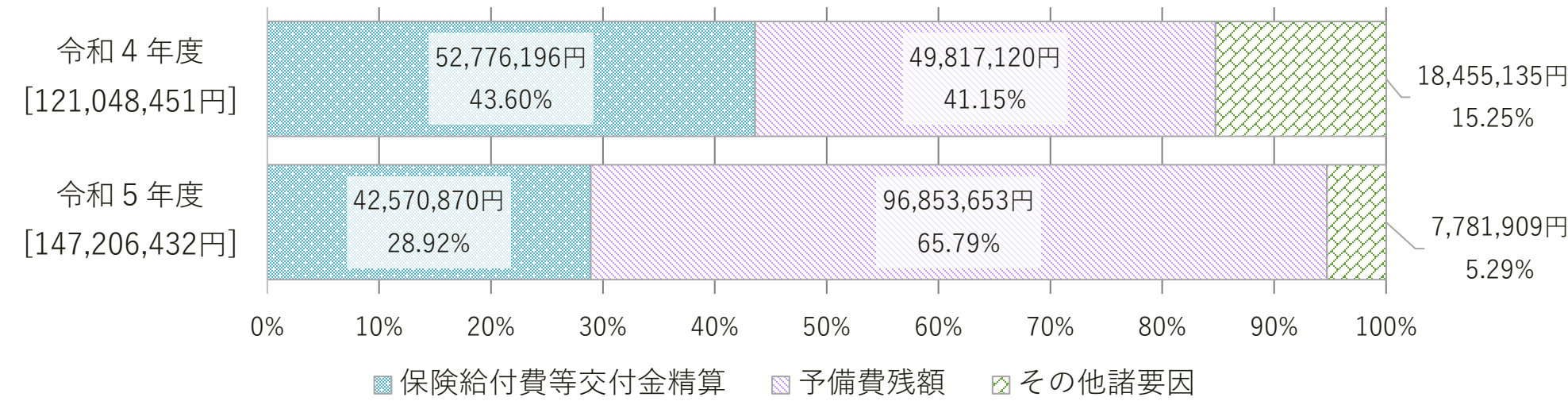


[単位：百万円]

区分	当初予算 ①	補正予算 ②	現計予算 ③ = ① + ②	決算見込 ④
収支差額 [(A) - (B)]	0	0	0	147
基金繰入金及び繰越金を除く収支	▲ 1,891	▲ 53	▲ 1,944	▲ 1,797

令和 5 年度の決算において、収支差額は **+147百万円** を見込んでいる。
ただし、歳入から基金繰入金及び繰越金（グラフ中破線赤枠部分）を除いた場合の歳入総額（37,833百万円）は、歳出総額（39,630百万円）を割り込んでおり、実質的な財政収支は **-1,797百万円** の赤字となる。

1-4. 令和 5 年度決算見込 【形式収支内訳】



■ 保険料収入について

[単位：円]

区分	予算 ①	収入済額 ②	差額 ③ = ② - ①
令和 4 年度 [A]	8,280,157,000	8,220,961,325	▲ 59,195,675
令和 5 年度 [B]	7,787,674,000	7,771,752,802	▲ 15,921,198
令和 5 年度（収納率が令和 4 年度と同じと仮定した場合） [C]	7,787,674,000	7,657,803,137	▲ 129,870,863

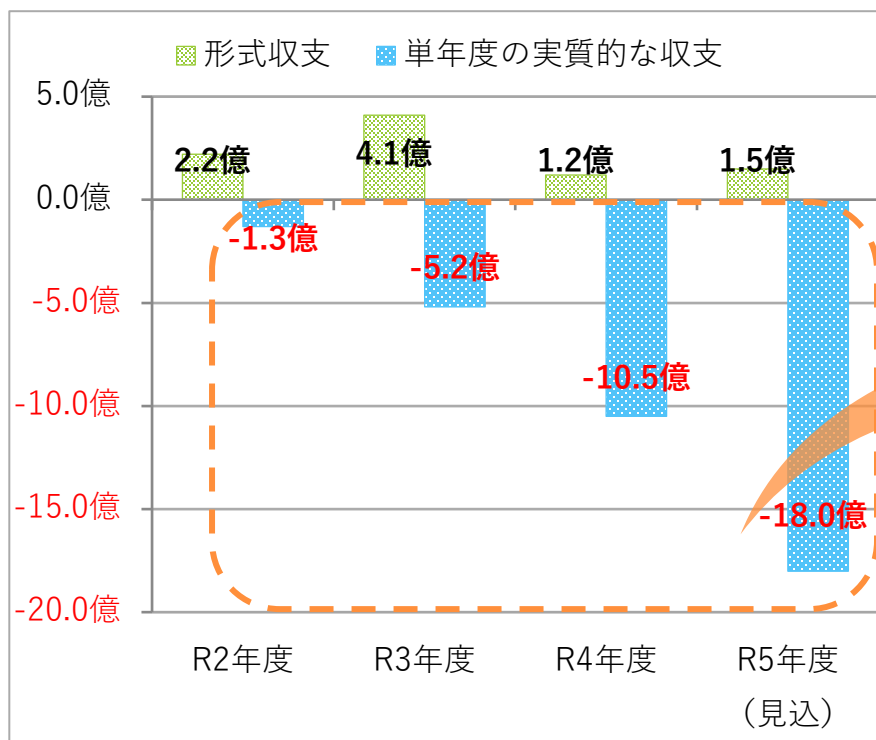
収納率向上による形式収支への貢献額 [D] = [C]③ - [B]③	113,949,665
-------------------------------------	-------------

令和 5 年度の収納率が向上しなかった場合、形式収支は約3,300万円だった。

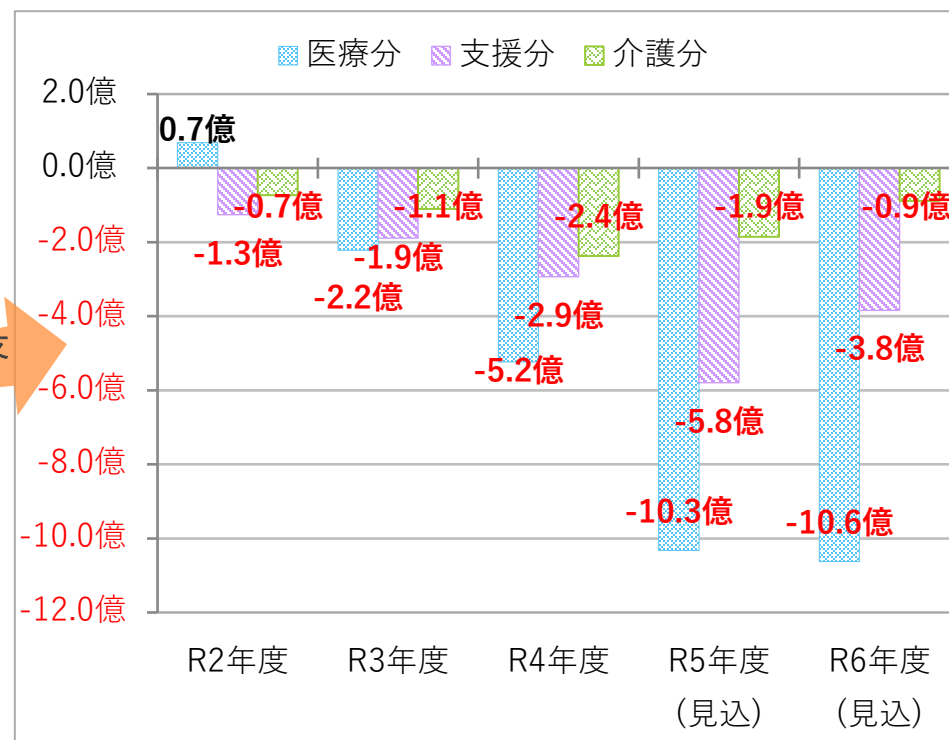
1-5. 国保会計における収支の推移

■ 近年の収支状況について

- 平成30年度から、千葉県が市町村とともに保険者として国保の運営主体となることで、収支均衡を図る財政運営を行っている。
- 令和3年度から保険料率・額を据え置いてきており、実質的な収支がマイナスとなっているところ、財源不足分に対して国民健康保険財政調整基金を繰り入れることにより、形式収支を黒字化している。
- 実質的収支の内訳を医療分・支援分・介護分に分類したところ、令和3年度以降は全てが不足し、介護分以外の不足額は拡大傾向であった。



実質的な収支
の内訳



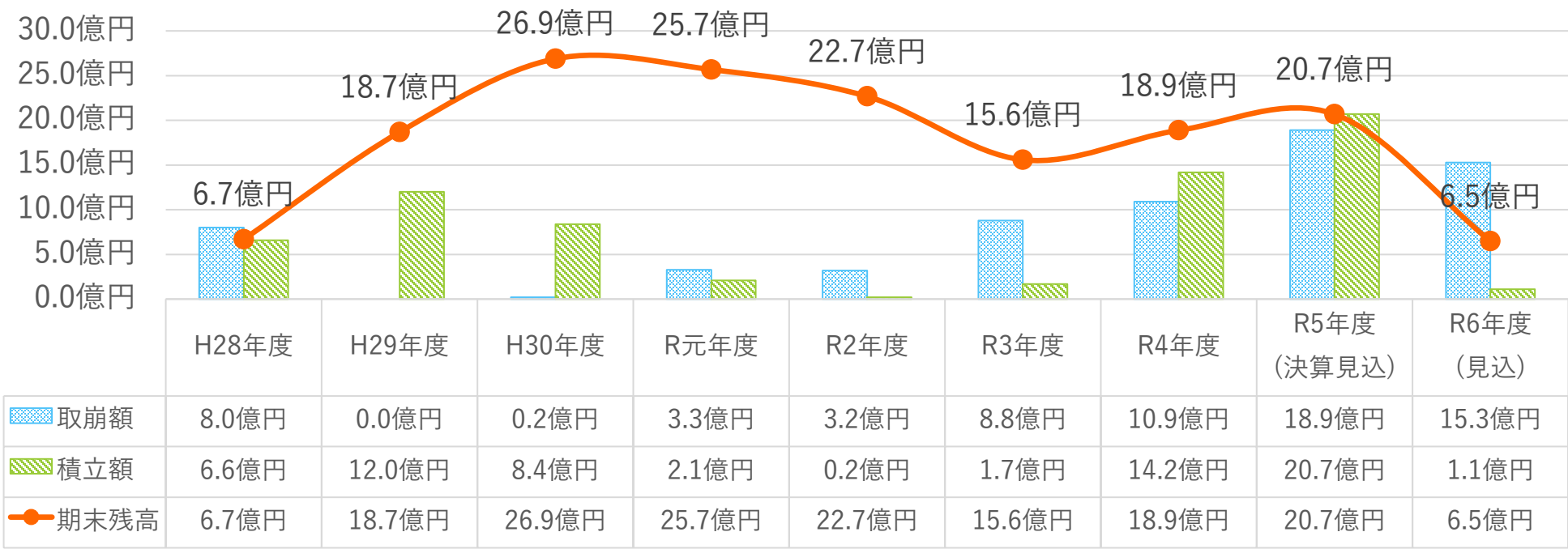
【用語定義】

形式収支：歳入－歳出

単年度の実質的な収支：形式収支－(法定外・基金繰入金，繰越金)+基金積立金

1-6. 国保財政調整基金の推移（取崩額・積立額・期末残高）

- 取崩額について
近年では令和元年度から数億円規模での取り崩しを実施していたところ、**特に令和3年度以降**は、新型コロナウイルス感染症の社会的な影響を鑑みて料率改定を見送り基金を活用した関係から**取崩額が急増**している。
- 積立額について
平成28年度から、決算剰余金の「1/2を下らない額」を基金に積み立てている。
- 期末残高について
 - **令和5年度**は一般会計から20億円の繰入を受けたため、**期末残高が約20.7億円**となった。
 - **令和6年度**は令和5年度決算剰余金から約1.1億円を積み立てる見込みのため、予算通りに基金の取り崩しを行った場合、**期末残高が約6.5億円**となる見込み。



令和 6 年度保険料の本算定の状況等について

1. 一人当たり医療費と被保険者数の推移
2. 一人当たり所得の推移（本算定時）
3. 一人当たり保険料調定額の推移
4. 現年分保険料収納率の推移
5. 過年度分保険料収納額の推移
6. 柏市保険料率の推移
7. 【近隣比較】 令和 6 年度の年間保険料比較 【参考】
8. //
9. //

※各図表において表示単位未満の位で四捨五入しているため、計が一致しない場合がある。

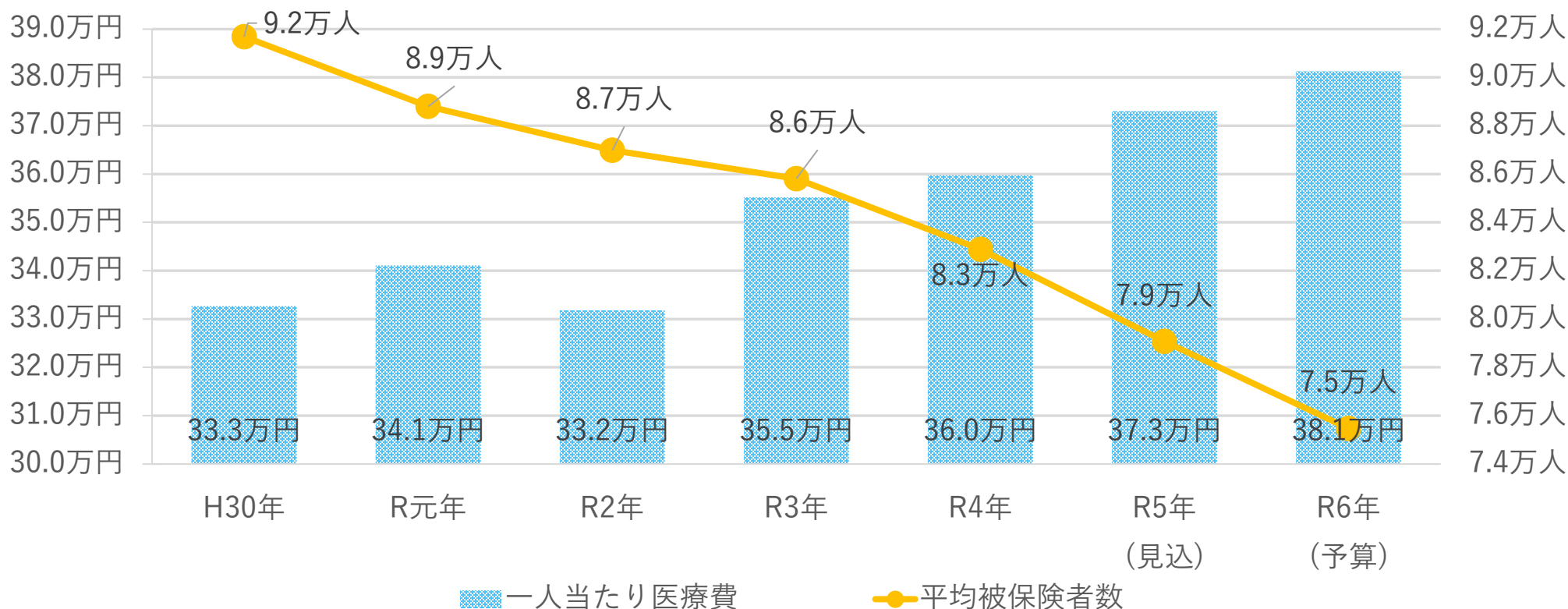
2-1. 一人当たり医療費と被保険者数の推移

■一人当たり医療費の推移

近年における一人当たりの医療費は、令和2年度を除き増加傾向にある。一人当たり医療費は様々な要因で増加するが、医療技術の高度化による価格の上昇、制度改正の影響等が考えられる。なお、令和2年度の減少は新型コロナウイルス感染症の拡大による受診控えが影響しているものと考えられる。

■被保険者数の推移(柏市国民健康保険・年度平均)

- かつては第一次産業や自営業に携わる人が多かったが、現在は被用者や年金所得者などが多い。
- 団塊の世代の後期高齢者医療制度への移行、被用者保険の適用拡大など様々な要因により減少傾向にある。



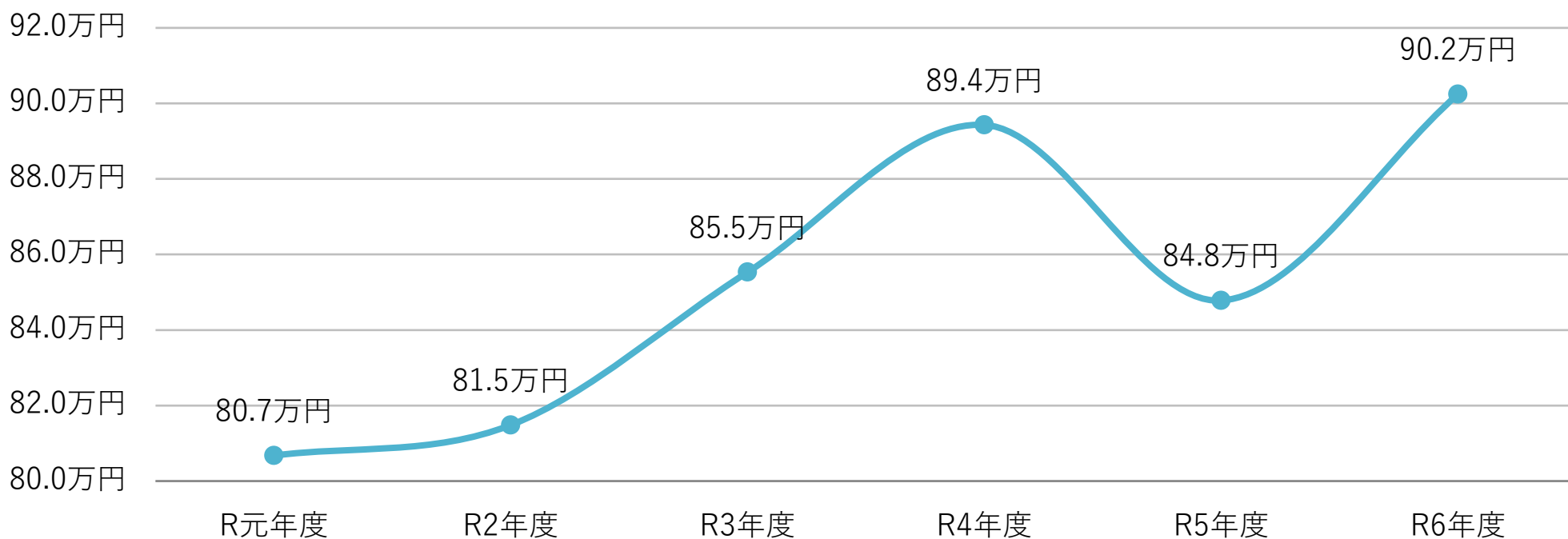
2-2. 一人当たり所得の推移（本算定時）

【近年の状況等】

- 令和3年度及び令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策の各種給付金の実施による影響と思われる所得の増加がみられた。
- 令和5年度は新型コロナウイルス感染症対策の各種給付金の終了及び社保適用拡大の影響と思われる所得の減少がみられた。

【令和6年度の状況等】

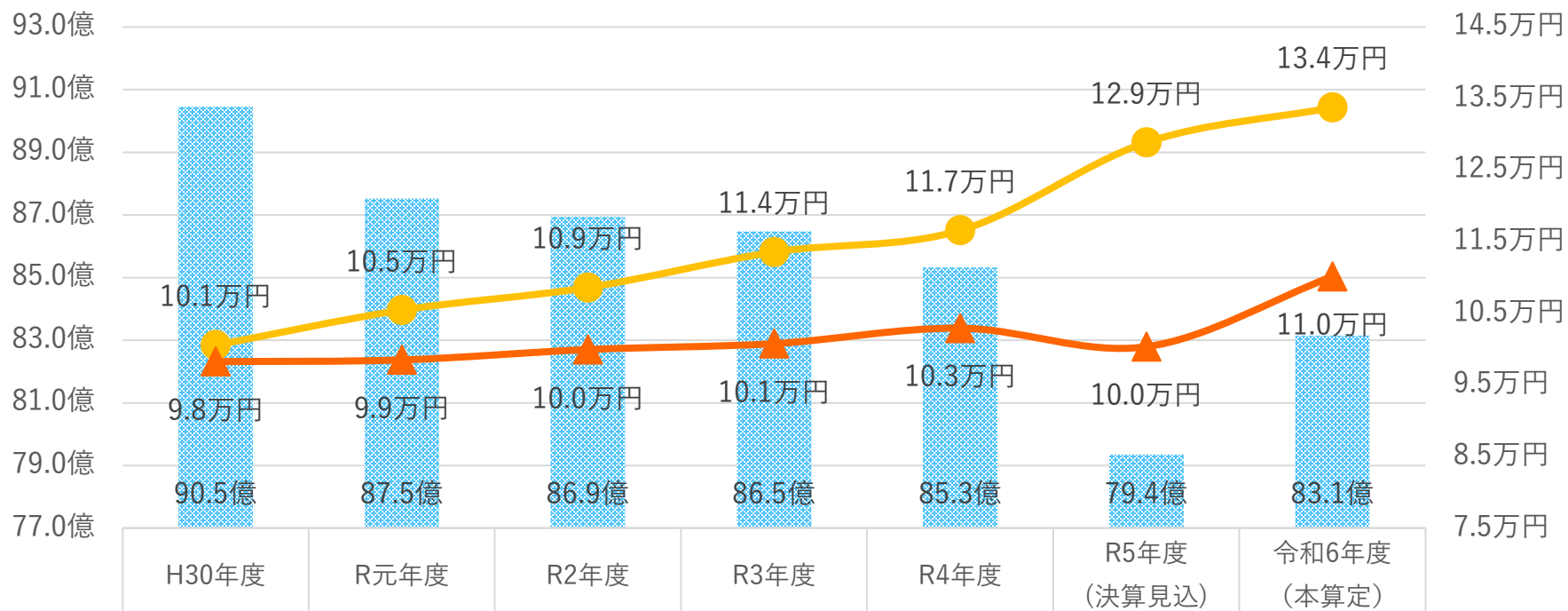
- 令和6年度は対前年比で6.4%増加しており、令和元年度以降で最も高い増加率となった。
（参考）令和2年度⇒令和3年度：4.9%，令和3年度⇒令和4年度：4.6%
- 高い増加率となった要因として、一般労働者の賃金が前年から2.1%増加するなど賃金や所得の上昇が見られたこと等が考えられる。



2-3. 一人当たり保険料調定額の推移

【近年の状況等】

- 千葉県の示す標準保険料と一人当たりの保険料調定額の乖離は令和5年度まで拡大しており、令和6年度に保険料率の改定を実施した。
- 令和6年度の保険料率改定では、見込みどおり乖離幅が約2万4千円に縮小した。
※一人当たり調定額は110,164円（予算見込109,893円 差異271円）

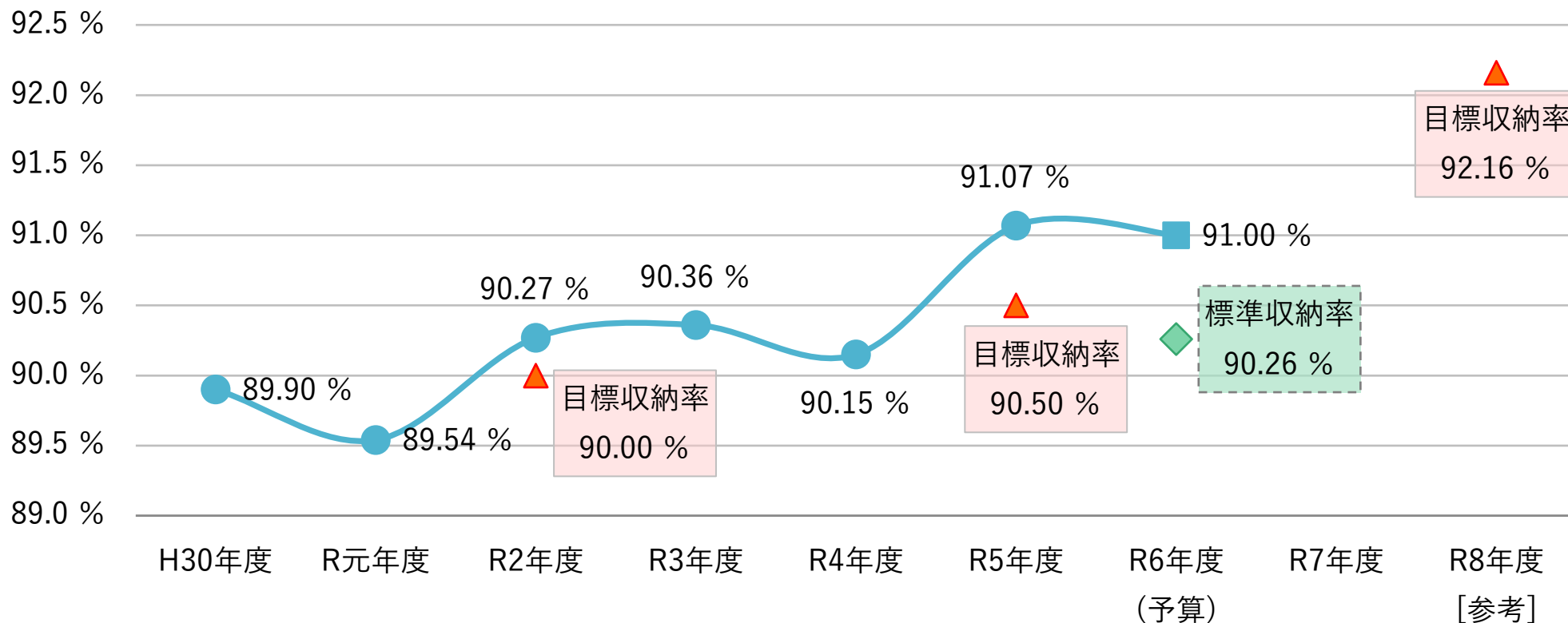


現年調定総額	9,046,198千円	8,752,807千円	8,694,482千円	8,647,696千円	8,532,081千円	7,935,250千円	8,314,275千円
一人当たり標準保険料	100,561円	105,461円	108,608円	113,572円	116,598円	128,884円	133,745円
一人当たり保険料	98,260円	98,507円	99,955円	100,777円	102,940円	100,350円	110,164円
乖離幅	▲ 2,301円	▲ 6,954円	▲ 8,653円	▲ 12,795円	▲ 13,658円	▲ 28,534円	▲ 23,581円

2-4. 現年分保険料収納率の推移

【近年の状況等】

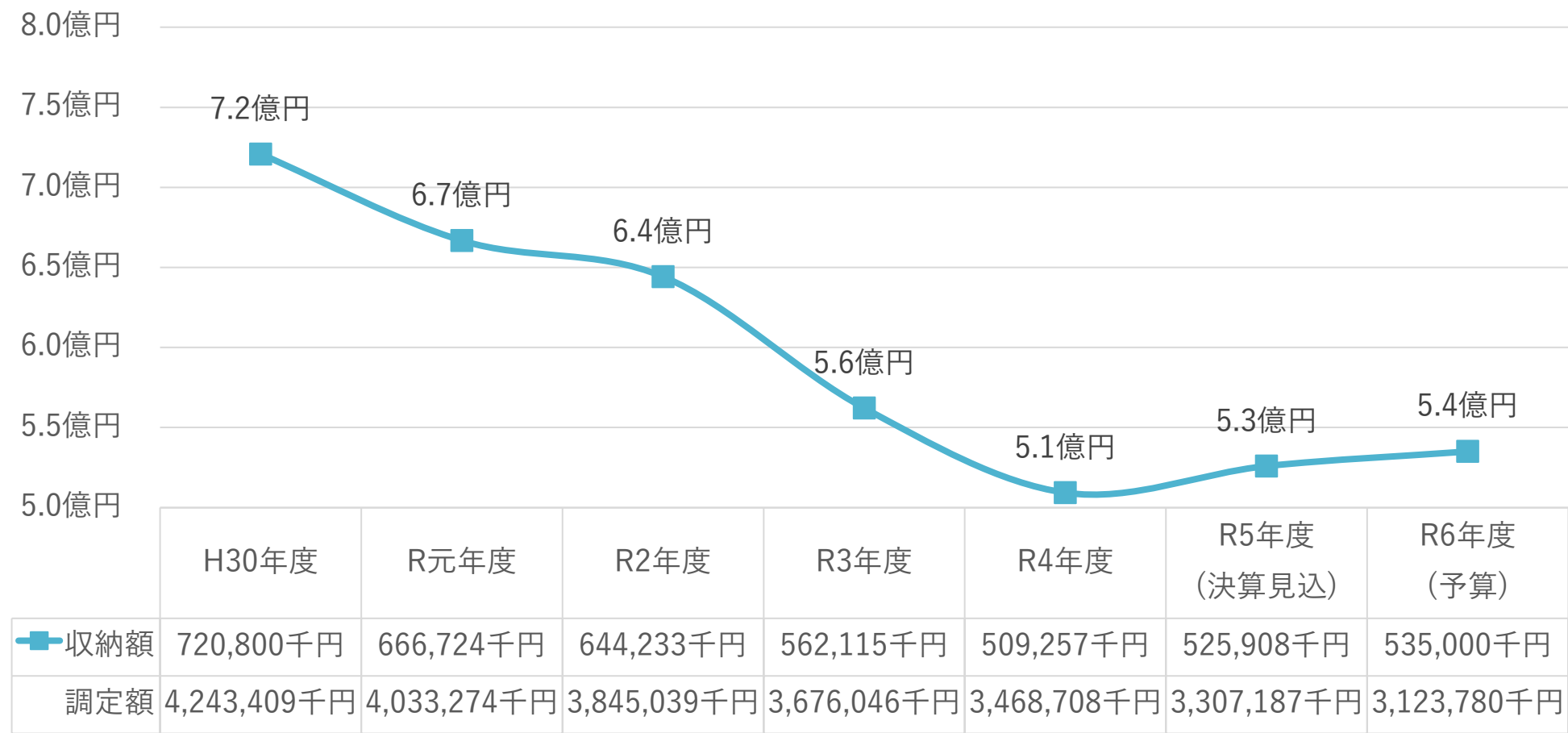
- 千葉県が令和6年度の納付金の算定に用いた**標準収納率は90.26%**であったが、保険料率をできる限り低く抑えるために、保険者としても更なる収納対策を講じることとし、**令和6年度予算**における**収納率は91.00%**とした。
- 千葉県の運営方針における目標収納率は、令和5年度までに90.50%、令和8年度までに92.16%、令和11年度までに93.30%であるが、**令和5年度における柏市の収納率はこれを上回るものであった。**
- 収納率向上に向けて引き続き次の取り組みを実施していく。
 - ⇒口座振替原則化の徹底（柏市国民健康保険条例等施行規則第12条の2）
 - ⇒口座を持っていない又は口座振替不能となった場合等に備え、電子決済サービスの対応拡大



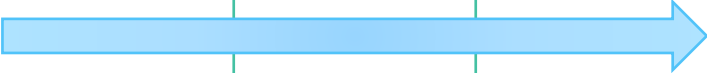
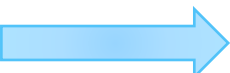
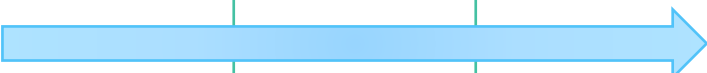
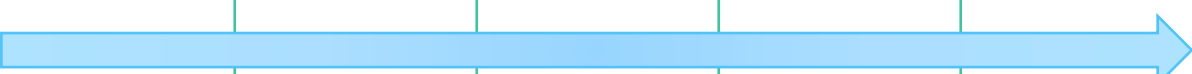
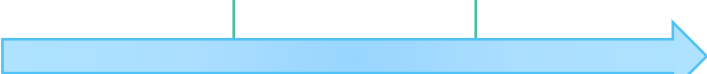
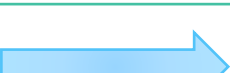
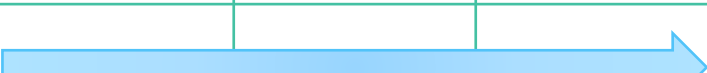
2-5. 過年度分保険料収納額の推移

【近年の状況等】

- 被保険者数の減少に加え、現年収納率が向上することで、過年度分調定額は減少している。
- 令和6年度以降、保険料改定を毎年実施したとしても、過年度分調定額は減少する見込みである。このため、今後の保険料（過年度分）収納額は、5億円程度で推移すると見込まれる。



2-6. 柏市保険料率の推移

区分		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R 6 年度
医療分	所得割 (増減)	6.04% (-0.02)		6.23% (+0.19)				6.89% (+0.66)
	均等割 (増減)	24,120円 (-120)		24,720円 (+600円)				27,180円 (+2,460円)
	平等割 (増減)	12,240円 (据置)						12,720円 (+480円)
支援分	所得割 (増減)	2.29% (据置)		2.35% (+0.06)				2.57% (+0.22)
	均等割 (増減)	11,760円 (据置)		11,880円 (+120円)				13,200円 (+1,320円)
介護分	所得割 (増減)	1.90% (据置)		1.97% (+0.07)				2.07% (+0.10)
	均等割 (増減)	14,400円 (据置)		14,760円 (+360円)				15,000円 (+240円)

2-7. 【近隣比較】 令和 6 年度の年間保険料比較 【参考】

試算ケース 1

構成：1人世帯（40代1人）
所得：400万円

[単位：円]

	医療分				支援金分				介護分				合計			
	均等割	平等割	所得割	合計	均等割	平等割	所得割	合計	均等割	平等割	所得割	合計	均等割	平等割	所得割	総合計
我孫子	21,200	22,300	258,825	302,300	10,500	0	137,445	147,900	15,200	0	62,475	77,600	46,900	22,300	458,745	527,800
千葉	20,640	24,840	248,115	293,500	8,400	10,080	103,530	111,900	10,680	8,040	84,252	94,900	39,720	42,960	435,897	500,300
松戸	21,000	18,000	272,034	311,000	12,000	0	93,534	105,500	15,000	0	64,617	79,600	48,000	18,000	430,185	496,100
柏	27,180	12,720	245,973	285,800	13,200	0	91,749	104,900	15,000	0	73,899	88,800	55,380	12,720	411,621	479,500
浦安	17,400	24,400	237,762	279,500	12,000	0	92,820	104,800	16,000	0	64,260	80,200	45,400	24,400	394,842	464,500
市川	12,000	20,400	267,750	300,100	8,800	0	67,830	76,600	13,600	0	73,185	86,700	34,400	20,400	408,765	463,400
野田	16,600	24,600	198,135	239,300	12,900	0	100,674	113,500	12,600	0	84,252	96,800	42,100	24,600	383,061	449,600
流山	19,200	15,600	260,610	295,400	5,500	0	78,540	84,000	12,600	0	57,120	69,700	37,300	15,600	396,270	449,100
鎌ヶ谷	15,600	21,600	257,040	294,200	9,000	0	76,755	85,700	13,000	0	52,836	65,800	37,600	21,600	386,631	445,700
船橋	35,100	0	238,119	273,200	10,700	0	96,033	106,700	11,500	0	53,193	64,600	57,300	0	387,345	444,500
平均	20,592	18,446	248,436	287,430	10,300	1,008	93,891	104,150	13,518	804	67,009	80,470	44,410	20,258	409,336	472,050

※総合計額を降順で整理した。

2-8. 【近隣比較】 令和 6 年度の年間保険料比較 【参考】

試算ケース2

構成：2人世帯（40代2人）
所得：400万円

[単位：円]

	医療分				支援金分				介護分				合計			
	均等割	平等割	所得割	合計	均等割	平等割	所得割	合計	均等割	平等割	所得割	合計	均等割	平等割	所得割	総合計
我孫子	42,400	22,300	258,825	323,500	21,000	0	137,445	158,400	30,400	0	62,475	92,800	93,800	22,300	458,745	574,700
松戸	42,000	18,000	272,034	332,000	24,000	0	93,534	117,500	30,000	0	64,617	94,600	96,000	18,000	430,185	544,100
千葉	41,280	24,840	248,115	314,200	16,800	10,080	103,530	120,300	21,360	8,040	84,252	105,600	79,440	42,960	435,897	540,100
柏	54,360	12,720	245,973	313,000	26,400	0	91,749	118,100	30,000	0	73,899	103,800	110,760	12,720	411,621	534,900
浦安	34,800	24,400	237,762	296,900	24,000	0	92,820	116,800	32,000	0	64,260	96,200	90,800	24,400	394,842	509,900
船橋	70,200	0	238,119	308,300	21,400	0	96,033	117,400	23,000	0	53,193	76,100	114,600	0	387,345	501,800
市川	24,000	20,400	267,750	312,100	17,600	0	67,830	85,400	27,200	0	73,185	100,300	68,800	20,400	408,765	497,800
野田	33,200	24,600	198,135	255,900	25,800	0	100,674	126,400	25,200	0	84,252	109,400	84,200	24,600	383,061	491,700
流山	38,400	15,600	260,610	314,600	11,000	0	78,540	89,500	25,200	0	57,120	82,300	74,600	15,600	396,270	486,400
鎌ヶ谷	31,200	21,600	257,040	309,800	18,000	0	76,755	94,700	26,000	0	52,836	78,800	75,200	21,600	386,631	483,300
平均	41,184	18,446	248,436	308,030	20,600	1,008	93,891	114,450	27,036	804	67,009	93,990	88,820	20,258	409,336	516,470

※総合計額を降順で整理した。

2-9. 【近隣比較】 令和 6 年度の年間保険料比較 【参考】

試算ケース3

構成：4人世帯（40代2人，就学児2人）
所得：400万円

[単位：円]

	医療分				支援金分				介護分				合計			
	均等割	平等割	所得割	合計	均等割	平等割	所得割	合計	均等割	平等割	所得割	合計	均等割	平等割	所得割	総合計
我孫子	84,800	22,300	258,825	365,900	42,000	0	137,445	179,400	30,400	0	62,475	92,800	157,200	22,300	458,745	638,100
柏	108,720	12,720	245,973	367,400	52,800	0	91,749	144,500	30,000	0	73,899	103,800	191,520	12,720	411,621	615,700
松戸	84,000	18,000	272,034	374,000	48,000	0	93,534	141,500	30,000	0	64,617	94,600	162,000	18,000	430,185	610,100
千葉	82,560	24,840	248,115	355,500	33,600	10,080	103,530	137,100	21,360	8,040	84,252	105,600	137,520	42,960	435,897	598,200
船橋	140,400	0	238,119	378,500	42,800	0	96,033	138,800	23,000	0	53,193	76,100	206,200	0	387,345	593,400
浦安	69,600	24,400	237,762	331,700	48,000	0	92,820	140,800	32,000	0	64,260	96,200	149,600	24,400	394,842	568,700
野田	66,400	24,600	198,135	289,100	51,600	0	100,674	152,200	25,200	0	84,252	109,400	143,200	24,600	383,061	550,700
市川	48,000	20,400	267,750	336,100	35,200	0	67,830	103,000	27,200	0	73,185	100,300	110,400	20,400	408,765	539,400
流山	76,800	15,600	260,610	353,000	22,000	0	78,540	100,500	25,200	0	57,120	82,300	124,000	15,600	396,270	535,800
鎌ヶ谷	62,400	21,600	257,040	341,000	36,000	0	76,755	112,700	26,000	0	52,836	78,800	124,400	21,600	386,631	532,500
平均	82,368	18,446	248,436	349,220	41,200	1,008	93,891	135,050	27,036	804	67,009	93,990	150,604	20,258	409,336	578,260

※総合計額を降順で整理した。

粗い将来推計について（更新）

1. 粗い将来推計の概要
2. 粗い将来推計における被保険者数について
3. 粗い将来推計における納付金の推移
4. 粗い将来推計に係る標準保険料について
5. 粗い将来推計に係る納付金の対前年比（伸び率）
6. 保険料を令和7年度以降据え置いた場合の粗い将来推計
7. 保険料を毎年8,500円改定した場合の粗い将来推計
8. 【参考】保険料を毎年8,500円改定した場合の粗い将来推計(R5年度版)

※各図表において表示単位未満の位で四捨五入しているため、計が一致しない場合がある。

3-1. 粗い将来推計の概要

1. 背景

国民健康保険財政を安定的に運営するためには、財政収支の基礎となる医療費の見通しを立てることが必要であり、その基礎資料を得ることを目的に本推計を実施している。

2. 各推計の諸条件について

《被保険者数》

✓ 被保険者数は以下の式により算出

〔n年度の推計人口〕 × 〔国保加入率の推計値〕

✓ 定年延長及び社保適用拡大の影響は考慮していない※過去の影響については加入率で内包

✓ 被保険者数及び平均年齢は一定の確度で見込んだが、その他は正確な予測が困難であり、あくまでも推計値である

《標準保険料》

✓ 令和5年度及び令和6年度は確定値を使用

✓ 令和7年度以降の標準保険料は以下により算出

①納付金について、H30～R6年度までの医療分・支援分・介護分の伸び率の平均値を用いてR7年度以降の納付金を推計したうえで、医療費水準(α の値の変動)を反映させ、②R6年度の標準保険料に推計した納付金の伸び率を乗じたうえで、被保険者の減少率を除して算出した。なお、医療分のみR8年度以降の伸び率を2.1%としている。

《1人当たりの赤字額》

✓ 令和5年度及び令和6年度は実質赤字を被保険数で除したもの

✓ 令和7年度以降は以下の式により算出

〔標準保険料との乖離(1)〕 - 〔3,402円※R5年度の一人当たりの標準保険料との乖離額から一人当たりの赤字額を引いた額〕

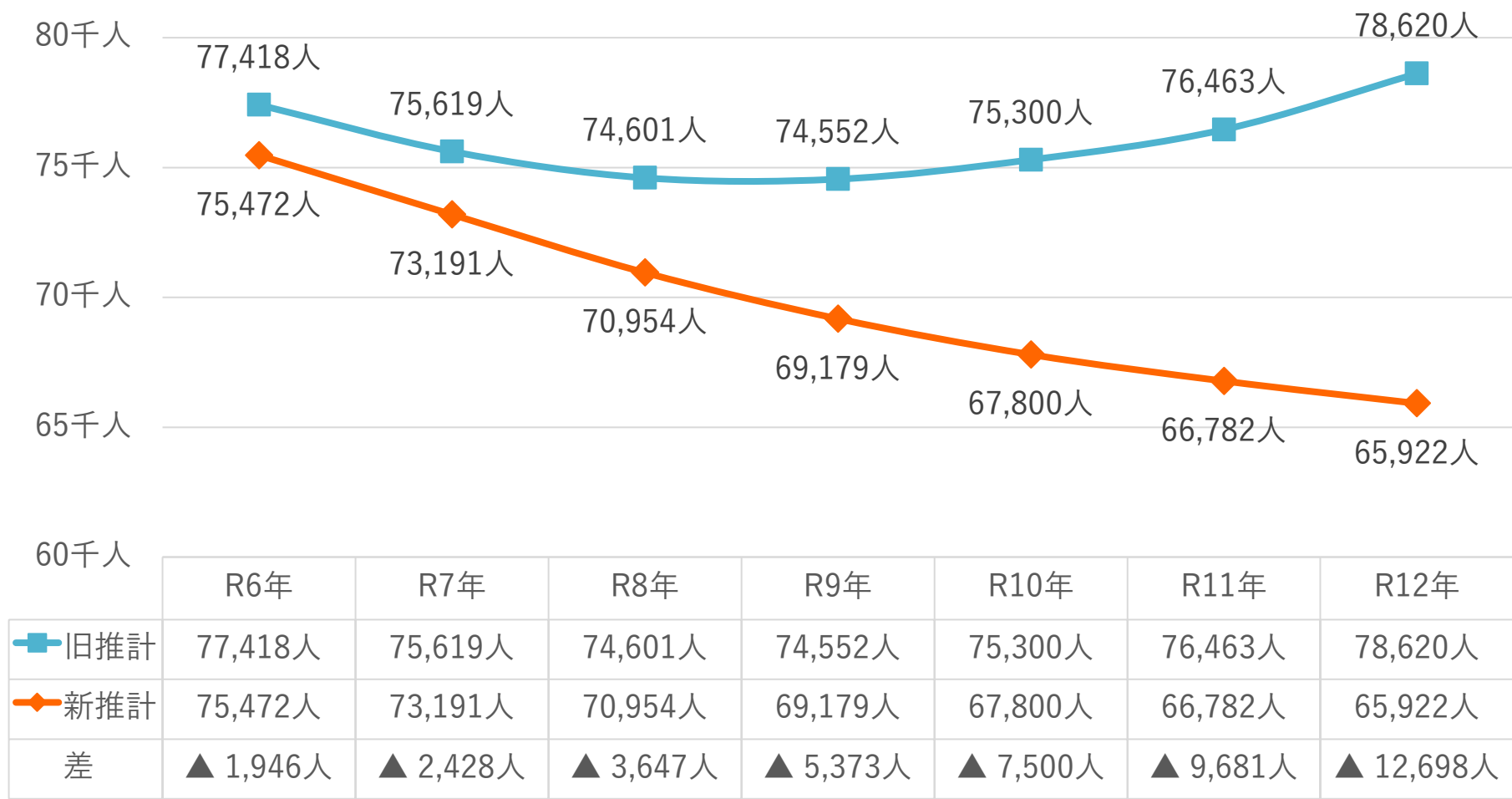
《その他》

✓ 所得の伸びは正確な予測が困難であり考慮していない

3. 昨年度からの変更点

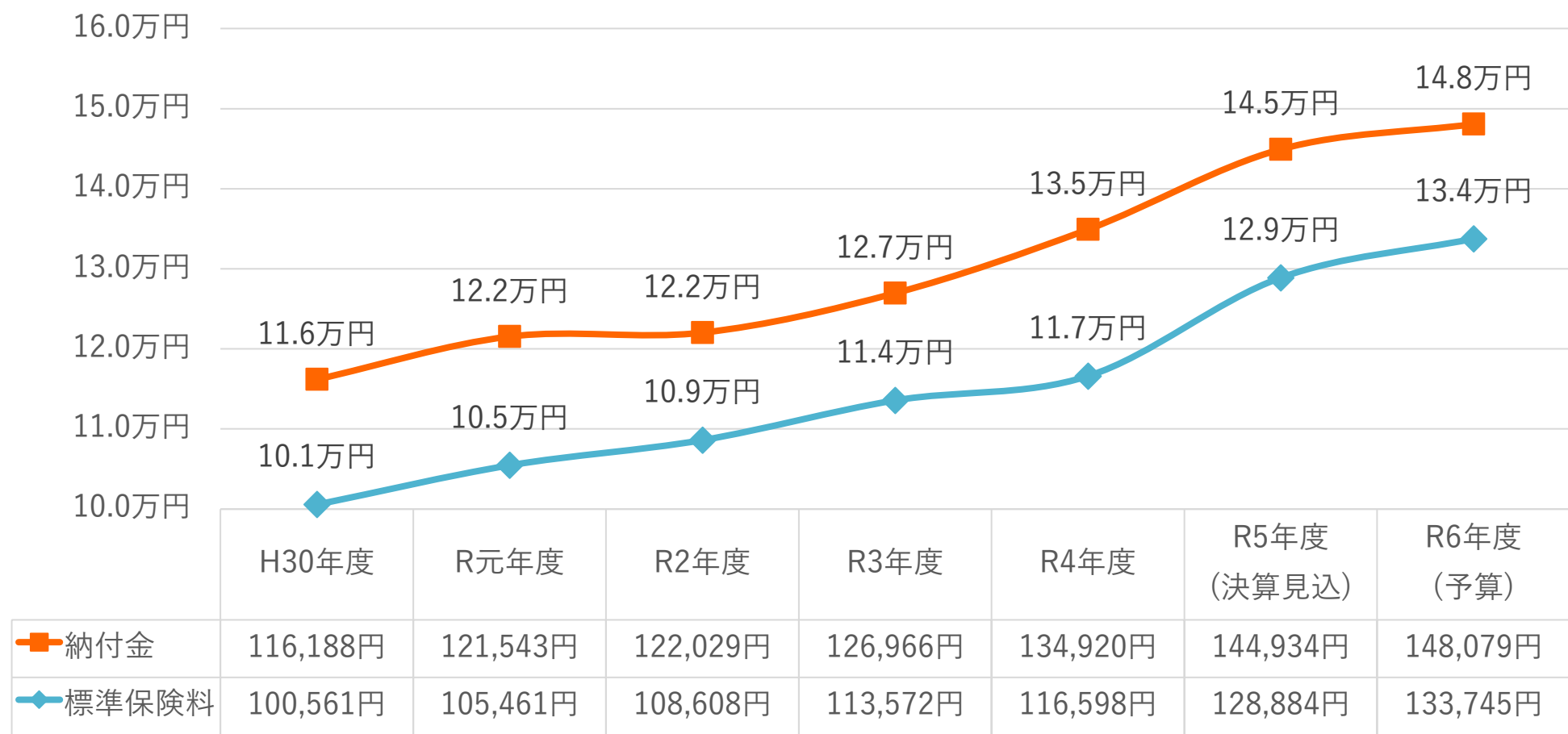
標準保険料について、子ども子育て支援金分及び医療費水準係数 α の計画的縮小を考慮に加えた

3-2. 粗い将来推計における被保険者数について（新旧比較）



定年延長，働く高齢者の増加，被用者保険の適用拡大などの影響がより強まり，令和1 2年度まで減少傾向となった。

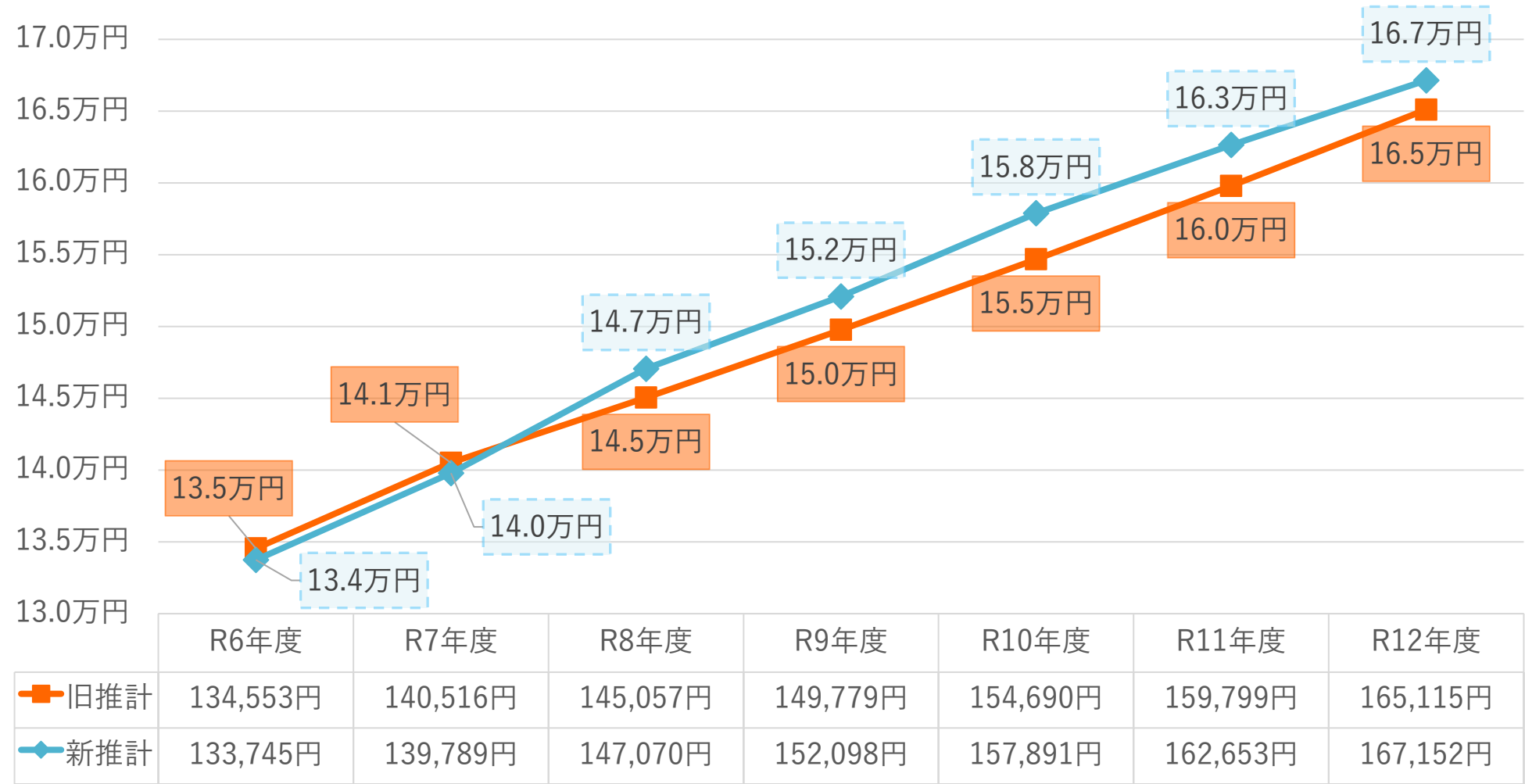
3-3. 粗い将来推計における納付金の推移



《近年の状況》

- ✓ 一人当たりの納付金と標準保険料の推移は、ほぼ同期している。
- ✓ 納付金の額は令和元年度以降継続して上昇傾向である。
- ✓ 納付金の額の上昇に伴い、標準保険料も上昇している。

3-4. 粗い将来推計に係る標準保険料について



《昨年将来推計との差異について》

- ✓ 令和6年6月5日に成立した子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律により、令和8(2026)年から医療保険者が「子ども・子育て支援金」を保険料として新たに徴収することに伴い、標準保険料額は増加している。

3-5. 粗い将来推計に係る納付金の対前年比（伸び率）

■ 一人当たり納付金

項目	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度 (決算見込)	R6年度 (予算)	平均 対前年度比
被保数	92,064人	88,855人	86,984人	85,810人	82,884人	79,076人	75,472人	－
納付金	116,188円	121,543円	122,029円	126,966円	134,920円	144,934円	148,079円	－
(対前年度比)	(－)	(4.61%)	(0.40%)	(4.05%)	(6.26%)	(7.42%)	(2.17%)	(4.15%)
医療分	78,382円	81,577円	81,623円	84,962円	89,180円	95,699円	97,891円	－
(対前年度比)	(－)	(4.08%)	(0.06%)	(4.09%)	(4.97%)	(7.31%)	(2.29%)	(3.80%)
支援分	28,109円	29,894円	29,990円	30,936円	32,700円	36,596円	37,685円	－
(対前年度比)	(－)	(6.35%)	(0.32%)	(3.15%)	(5.70%)	(11.91%)	(2.98%)	(5.07%)
介護分	9,698円	10,072円	10,416円	11,068円	13,039円	12,639円	12,503円	－
(対前年度比)	(－)	(3.86%)	(3.41%)	(6.27%)	(17.81%)	(▲ 3.07%)	(▲ 1.07%)	(4.53%)
【参考】標準保険料	100,561円	105,461円	108,608円	113,572円	116,598円	128,884円	133,745円	－
(対前年度比)	(－)	(4.87%)	(2.98%)	(4.57%)	(2.66%)	(10.54%)	(3.77%)	(4.90%)

■ 納付金

[単位：円]

年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5（決算見込）	R6（予算）
合計	10,696,762,874	10,721,240,643	10,693,060,081	10,708,134,519	10,722,879,911	10,721,321,722	10,724,468,069
医療分	7,216,117,413	7,248,523,159	7,099,917,829	7,290,556,465	7,391,626,773	7,567,501,473	7,388,015,715
支援分	2,587,833,517	2,656,231,245	2,608,661,052	2,654,588,676	2,710,338,443	2,893,847,819	2,844,192,749
介護分	892,811,944	894,932,810	905,982,000	949,787,691	1,080,744,954	999,428,423	943,639,332

3-6. 保険料を令和7年度以降据え置いた場合の粗い将来推計

項目		単位	R5 (予算)	R5 (決算見込)	R6 (予算)	R7 (推計)	R8 (推計)	R9 (推計)	R10 (推計)	R11 (推計)	R12 (推計)
(A)	被保険数	人	79,663	79,076	75,472	73,191	70,954	69,179	67,800	66,782	65,922
(B)	納付金額	千円	11,463,924	11,463,924	11,175,848	11,291,485	11,282,330	11,339,592	11,458,519	11,638,835	11,849,644
(C)	1人当たり納付金額(医療費水準反映前) [=(B)÷(A)]	円	143,905	144,973	148,079	154,275	159,009	163,916	169,004	174,280	179,753
(B')	納付金額 (B') ※医療費水準の異動を反映	—	1.0000	1.0000	1.0000	1.0033	1.0032	1.0030	1.0029	1.0028	1.0000
(C')	1人当たり納付金額(医療費水準反映後) [=(C)×(B')]	円	143,905	144,973	148,079	154,781	159,511	164,415	169,499	174,772	179,753
(D)	標準保険料 (こども支援金除く) [=前年数値×(C')の伸び率]	円	128,884	128,884	133,745	139,798	144,070	148,499	153,091	157,854	162,352
(E)	標準保険料 (こども支援金分)	円	0	0	0	0	3,000	3,600	4,800	4,800	4,800
(F)	標準保険料 [=(D)+(E)]	円	128,884	128,884	133,745	139,798	147,070	152,099	157,891	162,654	167,152
(G)	1人当たり保険料	円	101,745	100,350	101,390	109,893	109,893	109,893	109,893	109,893	109,893
(H)	値上げ額	円	0	0	8,503	0	0	0	0	0	0
(G')	値上げ後の一人当たり保険料額 [=(G)+(H)]	円	101,745	100,350	109,893	109,893	109,893	109,893	109,893	109,893	109,893
(I)	標準保険料との乖離 [=(F)-(G')]	円	27,139	28,534	23,852	29,905	37,177	42,206	47,998	52,761	57,259
(J)	1人当たり赤字額 [=(I)-3,402円]	円	23,737	22,719	20,302	26,503	33,775	38,804	44,596	49,359	53,857
(L)	実質赤字 [=(A)×(J)]	千円	1,890,986	1,796,555	1,532,213	1,939,776	2,396,502	2,684,430	3,023,650	3,296,282	3,550,375
年度当初基金残高		千円	1,890,985	1,890,985	2,068,272	1,939,776	2,396,502	2,684,430	3,023,650	3,296,282	3,550,375
前年度決算余剰金積立額		千円	0	68,272	108,297	0	0	0	0	0	0
一般財源による基金積立額 ※翌年度の実質赤字額と同額		千円	0	2,000,000	1,295,420	2,396,502	2,684,430	3,023,650	3,296,282	3,550,375	—

※ 黄色で反転させている部分（一般財源投入額）の7年合計額は、18,246,659千円（1年平均 2,606,666千円）

※ 黄色で反転させている部分の当初4年合計額は、8,376,352千円（1年平均 2,094,088千円）

3-7. 保険料を毎年8,500円改定した場合の粗い将来推計

項目		単位	R5 (予算)	R5 (決算見込)	R6 (予算)	R7 (推計)	R8 (推計)	R9 (推計)	R10 (推計)	R11 (推計)	R12 (推計)
(A)	被保険数	人	79,663	79,076	75,472	73,191	70,954	69,179	67,800	66,782	65,922
(B)	納付金額	千円	11,463,924	11,463,924	11,175,848	11,291,485	11,282,330	11,339,592	11,458,519	11,638,835	11,849,644
(C)	1人当たり納付金額(医療費水準反映前) [=(B)÷(A)]	円	143,905	144,973	148,079	154,275	159,009	163,916	169,004	174,280	179,753
(B')	納付金額 (B') ※医療費水準の異動を反映	—	1.0000	1.0000	1.0000	1.0033	1.0032	1.0030	1.0029	1.0028	1.0000
(C')	1人当たり納付金額(医療費水準反映後) [=(C)×(B')]	円	143,905	144,973	148,079	154,781	159,511	164,415	169,499	174,772	179,753
(D)	標準保険料 (こども支援金除く) [=前年数値×(C')の伸び率]	円	128,884	128,884	133,745	139,798	144,070	148,499	153,091	157,854	162,352
(E)	標準保険料 (こども支援金分)	円	0	0	0	0	3,000	3,600	4,800	4,800	4,800
(F)	標準保険料 [=(D)+(E)]	円	128,884	128,884	133,745	139,798	147,070	152,099	157,891	162,654	167,152
(G)	1人当たり保険料	円	101,745	100,350	101,390	109,893	118,393	126,893	135,393	143,893	152,393
(H)	値上げ額	円	0	0	8,503	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500
(G')	値上げ後の一人当たり保険料額 [=(G)+(H)]	円	101,745	100,350	109,893	118,393	126,893	135,393	143,893	152,393	160,893
(I)	標準保険料との乖離 [=(F)-(G')]	円	27,139	28,534	23,852	21,405	20,177	16,706	13,998	10,261	6,259
(J)	1人当たり赤字額 [=(I)-3,402円]	円	23,737	22,719	20,302	18,003	16,775	13,304	10,596	6,859	2,857
(L)	実質赤字 [=(A)×(J)]	千円	1,890,986	1,796,555	1,532,213	1,317,655	1,190,280	920,354	718,435	458,030	188,358
年度当初基金残高		千円	1,890,985	1,890,985	2,068,272	1,317,655	1,190,280	920,354	718,435	458,030	188,358
前年度決算余剰金積立額		千円	0	68,272	108,297	0	0	0	0	0	0
一般財源による基金積立額 ※翌年度の実質赤字額と同額		千円	0	2,000,000	673,299	1,190,280	920,354	718,435	458,030	188,358	—

※ 黄色で反転させている部分（一般財源投入額）の7年合計額は、6,148,756千円（1年平均 878,394千円）

※ 黄色で反転させている部分の当初4年合計額は、4,783,933千円（1年平均 1,195,983千円）

3-8. 【参考】 保険料を毎年8,500円改定した場合の粗い将来推計(R5年度版)

項目		単位	R5 (予算)	R6 (推計)	R7 (推計)	R8 (推計)	R9 (推計)	R10 (推計)	R11 (推計)	R12 (推計)
(A)	被保数	人	79,663	77,418	75,619	74,601	74,552	75,300	76,463	78,620
(B)	納付金額	千円	11,463,924	11,630,968	11,864,152	12,082,596	12,467,709	13,005,702	13,642,813	14,494,372
(C)	1人当たり納付金額 (C) = (B) / (A)	円	143,905	150,235	156,893	161,964	167,236	172,719	178,423	184,359
(D)	標準保険料 (D) = 前年数値 × (C) の伸び率	円	128,884	134,553	140,516	145,057	149,779	154,690	159,799	165,115
(E)	1人当たり保険料	円	101,745	101,745	110,245	118,745	127,245	135,745	144,245	152,745
(F)	値上げ額	円	0	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500
(G)	値上げ後の保険料額 (G) = (E) + (F)	円	101,745	110,245	118,745	127,245	135,745	144,245	152,745	161,245
(H)	標準保険料との乖離 (H) = (D) - (G)	円	27,139	24,308	21,771	17,812	14,034	10,445	7,054	3,870
(I)	1人当たり赤字額 (I) = (H) - 3,402円	円	23,737	20,906	18,369	14,410	10,632	7,043	3,652	468
(J)	実質赤字 (J) = (A) × (I)	千円	1,890,986	1,618,529	1,389,080	1,075,022	792,642	530,340	279,244	36,814
一般財源による基金積立額 ※翌年度の実質赤字額と同額		千円	1,618,529	1,389,080	1,075,022	792,642	530,340	279,244	36,814	491,594

※ 黄色で反転させている部分（一般財源投入額）の7年合計額は、5,721,671千円（1年平均817,382千円）

※ 黄色で反転させている部分の当初4年合計額は、4,875,273千円（1年平均1,218,818千円）

令和 6 年度の開催予定

今回

第1回
8月28日（水）

議題：令和5年度決算等

次回

第2回
1月29日（水）

議題：令和7年度予算等

昨年度と開催曜日が異なります。何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。